久留米市
道路脱炭素化推進計画

令和８年１１月

福岡県久留米市

目次

1. はじめに 1
1.1 本計画の位置付け 1
1.2 計画の期間 2
1.3 道路の脱炭素化の目標 2
1.4 SDGs との関連 2
2. 「道路管理分野」の目標と取り組み 3
2.1「道路管理分野」全体の CO_2 排出量 3
2.2「道路管理分野」全体の CO_2 削減目標 3
2.3「道路管理分野」の個別施策毎の CO_2 削減目標 4
2.4「道路管理分野」の個別施策に関する事項 5
3. 「道路整備分野」の目標と取り組み 7
4. 「道路利用分野」の目標と取り組み 7
5. ロードマップ 8

1. はじめに

1.1 本計画の位置付け

近年、地球温暖化の進行に伴い、気候変動による自然災害の激甚化や社会経済活動への影響が顕在化しており、脱炭素化は国・地方公共団体に共通する喫緊の課題となっている。こうした中、2025 年 2 月に「地球温暖化対策計画」が閣議決定され、2050 年ネット・ゼロの実現に向けた目標が設定された。

道路は、我が国の経済成長を支え、安全・安心な暮らしを確保する重要な社会基盤である一方、国内の CO_2 排出量の 18%を占めている状況にある。道路の脱炭素化に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、国において令和 7 年 10 月に「道路脱炭素化基本方針」が定められた。

久留米市では、「久留米市環境基本条例」に基づき策定された「久留米市環境基本計画」において、基本目標の１つとして脱炭素社会の構築が掲げられており、2050 年ゼロカーボンシティの実現に向けて、再エネや省エネ、蓄エネの普及など、温室効果ガス排出量の削減を進めるとともに、気候変動の影響低減に取り組むこととしている。

本計画は、国の「道路脱炭素化基本方針」に基づき、久留米市が管理する道路における脱炭素化の目標及び脱炭素化の推進を図るための施策に関する事項を「久留米市環境基本計画」との整合を図り定めるものである。

【参考】久留米市環境基本条例

第３条　良好な環境の保全及び創造は、市民が健康で文化的かつ快適な生活を営む上で必要とする良好な環境を確保し、これを将来の世代へ継承していくことを目的として行われなければならない。

２　良好な環境の保全及び創造は、自然と人間とが共生し、環境への負荷の少ない持続的な発展が可能な循環を基調とする社会を構築することを目的として、すべてのものの公平な役割分担の下に、自主的かつ積極的な取組によって行われなければならない。

３　地球環境保全は、市、市民及び事業者が自らの課題であることを認識して、それぞれの事業活動及び日常生活において積極的に推進されなければならない。

1.2 計画の期間

本計画の対象期間は、2040（令和22）年度までとする。

また、社会情勢の変化などを踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行うものとする。

1.3 道路の脱炭素化の目標

本計画においては、国の示す基本方針を踏まえ、基準年度のCO_2排出量に対して、「道路管理分野」「道路整備分野」「道路利用分野」の３つの分野におけるCO_2削減施策を掲げ、目標とするCO_2排出量の削減に取り組むものとする。なお、数値による削減目標の設定が可能で、また自律的である道路管理分野においては、その具体的な数値目標を定めるものとし、技術的にまだ発展の途上にある道路整備分野およびCO_2削減効果の程度が他律的な道路利用分野においては、今後取り組んでいく行動目標を示すものとする。

1.4 SDGsとの関連

SDGs は、「誰一人取り残さない」という理念の下、令和12年を達成年限とする全ての国が取り組むべき「持続可能な開発目標」であり、貧困、飢餓、健康・福祉、教育、ジェンダー、気候変動、平和などに関する17のゴール（目標）が掲げられています。SDGsの達成に向けては、国や地方自治体、民間企業、市民社会、消費者、地域の住民、NPOなどの多様なステークホルダーが、自分ごととして捉え、連携・協働して取り組んでいくことが求められる。「久留米市道路脱炭素化推進計画」では、CO_2削減に向けた取組を着実に推進することで、SDGsの目標達成につなげていくものとする。



※カラーアイコン：本計画における対象項目

2.「道路管理分野」の目標と取り組み

2.1「道路管理分野」全体の CO_2 排出量

本計画における目標の基準年度となる 2013 年度の道路管理分野の CO_2 排出量を示す。

表 1　道路管理分野において削減目標の基準とする CO_2 排出量

区分	CO_2 排出量 2013 年度（基準年度）
1．道路関係車両からの CO_2 排出量	36t
2．道路照明の電力消費による CO_2 排出量	1,099t
計	1,134t

CO_2 排出量の試算は国土交通省が示す算定式による

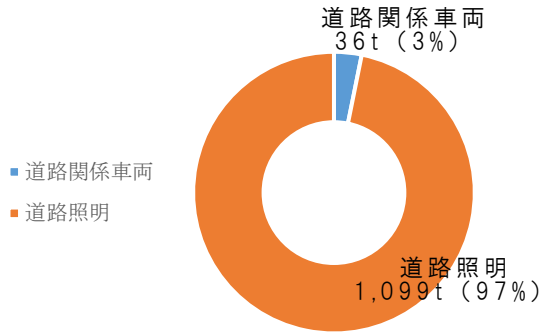

図 1　道路管理分野の CO_2 排出量（内訳）

2.2「道路管理分野」全体の CO_2 削減目標

本計画の「道路管理分野」全体における目標年度及び目標削減率は以下のとおり。

表 2　道路管理分野における CO_2 削減目標

	2030 年度	2040 年度
CO_2 目標削減率 （2013 年度比）	50%	75%
CO_2 目標削減量 （2013 年度比）	567t/年	851t/年
（参考） 国が示す道路全体 の CO_2 削減目標	46%	73%

上表の CO_2 目標削減量は、基準年度 CO_2 排出量に目標削減率を乗じた数値

2.3「道路管理分野」の個別施策毎の CO_2 削減目標

「道路管理分野」全体の CO_2 削減目標達成に向けて、「道路関係車両の電動車化」、「道路照明の LED 化」の取り組みを推進し、CO_2 削減目標の達成を目指す。

表３　道路管理分野の整備目標と CO_2 削減目標

取組内容	整備指標と目標				CO_2 削減量	
	指標	2013 年度	2030 年度	2040 年度	2030 年度	2040 年度
道路関係車両の電動車化	エコカー導入率※1	10%	70%	100%	4t/年	6t/年
道路照明の LED 化	道路照明 LED 化率	9%	70%	100%	825t/年	961t/年
【参考】再生可能エネルギーの活用※2	脱炭素電源由来の電力割合	-	55%	65%	-	-
合計					829t/年	967t/年

CO_2 削減量の試算は国土交通省が示す算定式による

※1　電動車（電気自動車、ハイブリット車、プラグインハイブリット車、燃料電池自動車等）および燃費基準達成車の導入割合

※2　太陽光発電設備等の設置計画や、電力契約を再エネ電力に切り替える計画は現時点では未策定である。そのため、当面は契約先の電力会社が提供する再生可能エネルギーの活用方針に準じた対応となる。２０３０年度、２０４０年度は、参考として福岡県の再生可能エネルギー電源比率に関する目標値を示した。

2.4 道路管理分野の個別施策に関する事項

（１）道路関係車両の電動車化

道路管理作業等に使用する道路パトロールカー・公用車（乗用車タイプ）について、環境負荷が小さい移動手段への転換を促進するため、車両の購入または更新時に、エコカーの導入※１を推進する。

表４　道路関係車両のエコカー導入※１

区分	2013 年度 （基準年度）	2030 年度	2040 年度
パトロールカー	0%	50%	100%
公用車	16%	83%	100%
合計	10%	70%	100%



写真　パトロールカー



写真　公用車

※1　電動車（電気自動車、ハイブリット車、プラグインハイブリット車、燃料電池自動車等）および燃費基準達成車の導入割合

（２）道路照明の LED 化

基準年度時点で路上やアンダーパスに設置されている約２，０００灯の道路照明は、２０４０年度までに消費電力の大きい水銀ランプやナトリウムランプから、ＬＥＤランプへの移行を進める。なお、２０１３年度（基準年度）以後に新たに供用を開始した道路や、新たに設置した道路照明は全てＬＥＤランプで整備を行っている。

表５　道路照明の LED 化率

取組内容	2013 年度 （基準年度）	2030 年度	2040 年度
道路照明 LED 化	9%	70%	100%



写真　道路照明灯

3.「道路整備分野」の目標と取り組み

道路整備分野での CO_2 削減については、求められる品質を保持した新たな低炭素建設資材や、低炭素建設機械の技術開発・普及・促進が国において進められているところです。このことから、例えば低炭素アスファルトなど、今後の技術の確立や市場の流通の動向を踏まえ、本市においても使用可能なものについて、導入の検討をしていくものとする。



参考写真　低炭素材料の導入促進



参考写真　低炭素建設機械の活用

※国土交通省 HP 参照

4.「道路利用分野」の目標と取り組み

道路利用分野での CO_2 削減については、次世代自動車の普及・燃費改善、自転車や公共交通などの環境負荷の小さい移動手段への転換など、道路管理者が実施する取組みだけでは排出量の削減が見込めない分野です。この分野の取組みについては、本市が策定する個別計画に掲げるシェアサイクルの普及促進や自転車通行空間整備などを推進していくものとする。



写真　シェアサイクルの利用促進



写真　自転車通行空間の整備推進

5.ロードマップ

2 から 4 に記載した取組毎に、実施時期をロードマップとして示す。

表６　久留米市の脱炭素化に係るロードマップ

取組分野	取組内容	2026 年度	2027 年度	～2030 年度	～2040 年度
道路管理分野	道路関係車両の電動車化	エコカーへの切替え			
	道路照明の LED 化	LED 道路照明への交換・導入			
道路整備分野	低炭素建設機械の導入促進	市場動向調査・導入検討		試行導入・検証	本格導入
	低炭素材料の導入促進	市場動向調査・導入検討		試行導入・検証	本格導入
道路利用分野	自転車走行空間の整備	自転車走行空間の整備			
	シェアサイクルポートの設置	サイクルポートの設置			